

## 児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和6年2月27日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス AYUMOおりの

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		プログラム中の運動をするスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	○		人員配置の基準を満たし、児童発達支援管理責任者・小学校教諭・保育士・児童指導員の資格を取得した職員を配置しております。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に並び、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		手荷物を入れる場所には色分けや写真を付けて分かりやすいようにしている。集中力を継続させるために、極力壁面を貼らないようにしている。施設内に段差はなく、バリアフリー化に努めている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		クールが終了ごとに掃除を行い、清潔を心がけている	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の朝礼では、その日来所する利用児童の目標を確認し、終礼では1日の振り返りを行い、日々の業務改善に努めている	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に一度実施し、保護者の意見をスタッフ間で検討し、業務改善に努めている	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		様々なご意見をいただき、早急に改善していくことで、質の良いサービスの提供に繋げることができている	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今年度より実施予定	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部講師を呼んで、毎月テーマ別の研修を行っている	常勤スタッフがメインの研修の為、非常勤スタッフも研修の参加を今後は検討
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者との面談、モニタリングを行い計画を作成している	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを作成し、課題の抽出、個別支援計画作成の根拠資料として活用している	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			現在地域支援は行っていないが、ガイドラインの支援内容から適切な項目を選択し、具体的に支援を行っている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に沿って支援を行っている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		来所する子どもに合わせて、スタッフ間で相談し、活動プログラムを決めている	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		運動サーキットは2週に1回、生活プログラムは1週ごとに変更している	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個々の子どもの特徴を十分に理解し、個別・集団活動ができるように、作成している		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で、リーダーや目標を決め、スタッフ全員で共有している	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼で、プログラムの反省や全体の振り返りを行い、保護者からの連絡事項などの共有を行っている	振り返った内容を、アセスメントに追記し次回の個別支援計画やカンファレンス会議の参考にする
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援を経過記録や療育日誌に記録し、個別支援計画の評価、見直しの根拠資料として活用している	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		六ヶ月に一度はモニタリングと支援会議を行い見直しが必要か判断している。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		障がい児相談支援事業所とは直接施設にモニタリングに来て頂いたり、電話や個別支援計画の支援内容の情報共有をしたりと連携を図っている	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて市町村の保健センターや関係機関と連携をしている	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在該当する児童がいない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在該当する児童がいない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在直接的な連携ははかれておらず、今後機会を作り、連携していきたい
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在直接的な連携ははかれておらず、今後機会を作り、連携していきたい
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			相談支援事業所とはモニタリングの機関に情報共有を行っている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		要望や案内があった場合は、交流する機会を作るように検討していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		毎月一回、地域の事業所連絡会に参加している	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートや直接話すなどをして、情報共有し、共通理解を持てるようにしている	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		面談時などに子どもの特性に合わせた声掛けの助言や、親子通所を行い、親子の触れ合いの時間や一緒に遊ぶ時間を設けている
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に詳しく説明している		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画作成後、説明を行い、内容を確認して頂いている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者から頂いた悩みを受け止め、今後どうしていくのかをスタッフ間で考え、伝えている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナが5類に移行したことで昨年より保護者会を開催し、保護者同士の連携を支援している	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があった場合、スタッフ間で相談内容を確認し、今後どうしていくのかを話し合い、即時対応している	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月のお便りやLINE、ブログで情報を発信している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類関係は鍵のかかるキャビネットで厳重に管理している	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個々の子どもに合わせた伝達方法で情報提供に努めている	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			昨年度より祝日のイベントプログラムの中で、地域で活動している合唱団を招待して音楽会を開いた。今後少しずつ交流の機会を増やしていきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		半年に一度、防災・防犯訓練を実施している。感染症対策は定期的に研修を行っている	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実際の避難経路の確認等、防災訓練で行っている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時、又は新年度等定期的にアセスメントシートで確認している	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		初回面談で子どものアレルギーに関して、保護者から確認できている。今後どのようなアレルギーがあり、症状が出た際にどのように対処するかをスタッフ間で情報共有していきたい
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		各スタッフが作成し、全体で内容を共有している	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止委員会を設置し、同法人内で研修を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		契約時に説明して同意を得ている	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料10

公表： 令和6年 2 月 27 日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス AYUMOおりの

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		プログラム中の運動をするスペースを確保している	訓練を行うスペースには最低限必要な物しか置かないようにしている
	2 職員の配置数は適切である	○		人員配置の基準を満たし、児童発達支援管理責任者・小学校教諭・保育士・児童指導員の資格を取得した職員を配置している	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		施設内に段差はなく、バリアフリー化に努めている	入口や扉のところには段差はなく、車イスでも通やすくしている
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の朝礼では目標を立て、終礼では振り返りをスタッフ全員で行い、日々業務改善に努めている	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		様々なご意見をいただき、早急に改善していくことで、質の良いサービスの提供に繋げることができている	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに結果を掲載している	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	今年度より実施予定	
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部講師を呼んで、毎月テーマ別の研修を行っている	常勤スタッフがメインの研修の為、非常勤スタッフの研修の参加を今後は検討	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者との面談、モニタリングを行い、計画を作成している	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを作成し、課題の抽出、個別支援計画作成の根拠資料として活用している	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		来所する児童に合わせて、スタッフ間で相談し、活動プログラムを決めている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		運動は二週に一回、生活は毎週内容を変更し、日々のプログラムも全く同じにならないように少しずつ変化をつけて行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		通常プログラム、祝日プログラム、長期休暇プログラムと分けて支援を行っている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個々の児童の特性を十分に理解し、個別、集団活動ができるように、作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼で、リーダーや目標を決め、スタッフ全員で共有している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼で、プログラムの反省や全体の振り返りを行い、保護者からの連絡事項などの共有を行っている	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の支援を経過記録や療育日誌に記録し、個別支援計画の評価、見直しの根拠資料として活用している	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		六ヶ月に一度はモニタリングと支援会議を行い見直しが必要か判断している		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		スタッフ間でガイドラインの読み合わせを行い、支援の基本活動を意識して児童と関わっている		

関係機関 や保護者との 連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		障害児相談支援事業所とは直接施設にモニタリングに来て頂いたり、電話や個別支援計画の支援内容の情報共有をしたりと連携を図っている	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		必要な情報の取得や提供に努め、トラブルが起こらないように事前の連絡調整に努めている。学童などにも名刺を渡し、連絡が取れるようにしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現在該当する児童がいない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		こちら側から相談支援事業所等に積極的に電話で確認を行っていききたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		まだその機会がない
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		まだ専門機関と連携を取る機会が少ないので、今後積極的に連携を取っていき、助言や研修を受けていききたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		保護者へのアンケートでもそのような要望がない為、取り組んでいない
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○			毎月一回、地域の事業所連絡会に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			連絡ノートや送迎時に直接話をするなどし、情報共有し、共通理解を持てるようにしている
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		面談時などに児童の特性に合わせた声掛けの助言などは行っている	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に詳しく説明している
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			保護者から頂いた悩みを受け止め、今後どうしていくのかをスタッフ間で考え、伝えている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			コロナが5類に移行したことで昨年より保護者会を開催し、保護者同士の連携を支援している
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			迅速に対応し、改善点などを保護者に説明し、不満や不安の解消に努めている。また苦情対応の記録を残し、ミーティング等を行うことでスタッフ間で共有している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月のお便りやLINE、ブログで情報を発信している
	35	個人情報に十分注意している	○			書類関係は鍵のかかるキャビネットで厳重に管理している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			個々の児童に合わせた伝達方法で情報提供に努めている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			昨年度より祝日のイベントプログラムの中で、地域で活動している合唱団を招待して音楽会を開いた。今後少しずつ交流の機会を増やしていきたい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		半年に一度、防災・防犯訓練を実施している。感染症対策は定期的に研修を行っている	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		実際の避難経路の確認等、防災訓練で行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行っている	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時などに保護者に説明し、書面にて同意を頂いている。やむを得ない身体拘束に関しては、支援計画に反映するようにしている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		初回面談時に児童のアレルギーに関して、保護者から確認できる。またおやつは各自持参して頂いている。今後どのようなアレルギーがあり、症状が出た際にどのように対処するのかをスタッフ間で情報共有していき
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		各スタッフが作成し、全体で内容を共有している	